

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公表番号】特表2006-511211(P2006-511211A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-538747(P2004-538747)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
C 0 7 K	14/15	(2006.01)
C 0 7 K	16/08	(2006.01)
G 0 1 N	33/569	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 P	31/12	1 7 1
C 0 7 K	14/15	
C 0 7 K	16/08	
G 0 1 N	33/569	L
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月19日(2006.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネコ科において作動が可能なプロモーター配列、および、配列番号6及び配列番号9あるいは配列番号6及び配列番号10で示されるFeLVの構造タンパク("gag")及びFeLVの膜タンパク("env")をコードしている少なくとも1の核酸配列を含むネコの細胞においてネコ白血病ウィルス(FeLV)の遺伝子産物を発現させるためのDNA発現構築体。

【請求項2】

"gag"構造タンパクをコードしている配列番号5の突然変異核酸配列を含むことを特徴とする、請求項1のDNA発現構築体。

【請求項3】

env-gp85膜タンパクをコードしている配列番号7の突然変異核酸配列を含むことを特徴とする、請求項1のDNA発現構築体。

【請求項4】

env-gp70膜タンパクをコードしている配列番号8の突然変異核酸配列を含む特徴とする、請求項1のDNA発現構築体。

【請求項5】

前記の核酸配列がコードしている構造及び/又は膜タンパクに完全に含まれることを特

徴とする、請求項 1 乃至 4 の少なくとも 1 の請求項に記載の D N A 発現構築体。

【請求項 6】

前記発現構築体がプラスミドであることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 の少なくとも 1 の請求項に記載の D N A 発現構築体。

【請求項 7】

免疫化ポリヌクレオチド配列が直線状 2 本鎖領域を含む共有的に閉鎖された直線状デオキシリボヌクレオチド分子から成る発現構築体の形を取り、前記 2 本鎖を形成する各 1 本鎖はデオキシリボヌクレオチドから成る短い 1 本鎖ループによって結合され、及び前記 2 本鎖を形成する 1 本鎖は、ワクチン接種の対象となる動物において作動が可能なプロモーターの制御下にあるコード配列とターミネーター配列のみから成ることを特徴とする、請求項 1 から 5 の少なくとも 1 項による D N A 発現構築体。

【請求項 8】

前記発現構築体が一つ以上のペプチドに対して共有的に結合することを特徴とする請求項 1 乃至 7 の少なくとも 1 請求項に記載の D N A 発現構築体。

【請求項 9】

前記ペプチドが 3 から 30 個のアミノ酸から成り、その少なくとも半分がアルギニンとリジンから成るグループのメンバーであることを特徴とする、請求項 8 に記載の D N A 発現構築体。

【請求項 10】

前記ペプチドが配列 P K K K R K V (プロリン - リジン - リジン - リジン - アルギニン - リジン - バリン) を含むことを特徴とする、請求項 9 の D N A 発現構築体。

【請求項 11】

ネコ科、特にネコにおいて予防的および / または治療的免疫を產生するための製薬組成物、特にワクチンであって、請求項 1 から 10 の少なくとも 1 請求項に記載の D N A 発現構築体を含む製薬組成物、特にワクチン。

【請求項 12】

配列番号 6 のアミノ酸配列を有するタンパク質。

【請求項 13】

配列番号 9 のアミノ酸配列を有するタンパク質。

【請求項 14】

配列番号 10 のアミノ酸配列を有するタンパク質。